

# 矢板市中心市街地活性化基本計画

《 概 要 版 》

## ゆっくり歩けるまち 矢板

～人と自然がもてなす「賑わいとふれあいの空間」～



平成 15 年 3 月

矢 板 市

# 基本計画策定の目的及び区域

中心市街地には、商業、業務、居住等の都市機能が集積し、長い歴史の中で、文化、伝統を育み、各種の機能を培ってきた。駅西口前から市役所を含む区域は、これまで本市の中心としての役割を果たしてきたが、近年、モータリゼーションの進展や消費者の行動様式の変化等に伴い、人口の流出や少子高齢化の進行、空店舗の増加や大型店の撤退等により、中心市街地の空洞化がますます深刻化している。

こうした現状の下、この基本計画は、本市中心市街地の活性化に向け、現状を打開するため行動目標を設定したものである。中心市街地の区域は、集中的な事業展開による経済波及効果等を考慮し、商業施設や都市機能の集積状況を踏まえ、約66haとする。

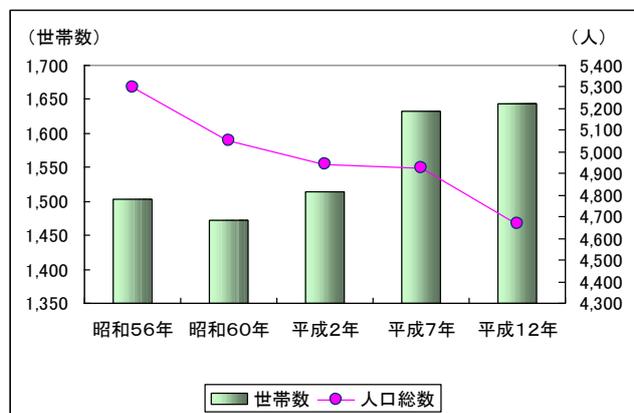
区域図



## 中心市街地の現状

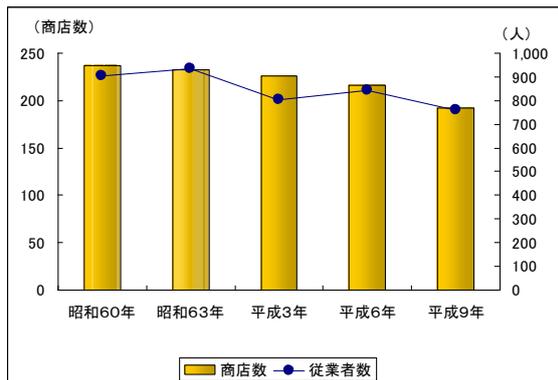
世帯数は増えているけど、人口は年々減っているんだ！

人口の推移

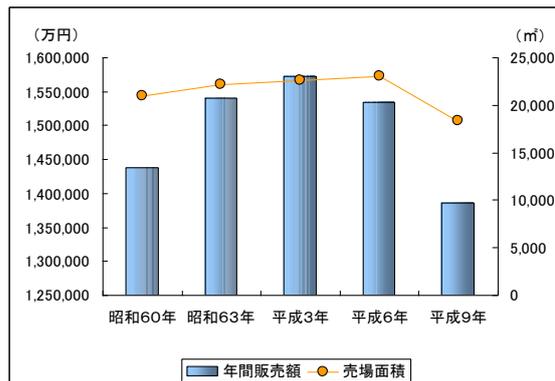


中心市街地内の商店数や従業者数が減り、販売額や売場面積も減っているんだ

商店数と従業者数の推移



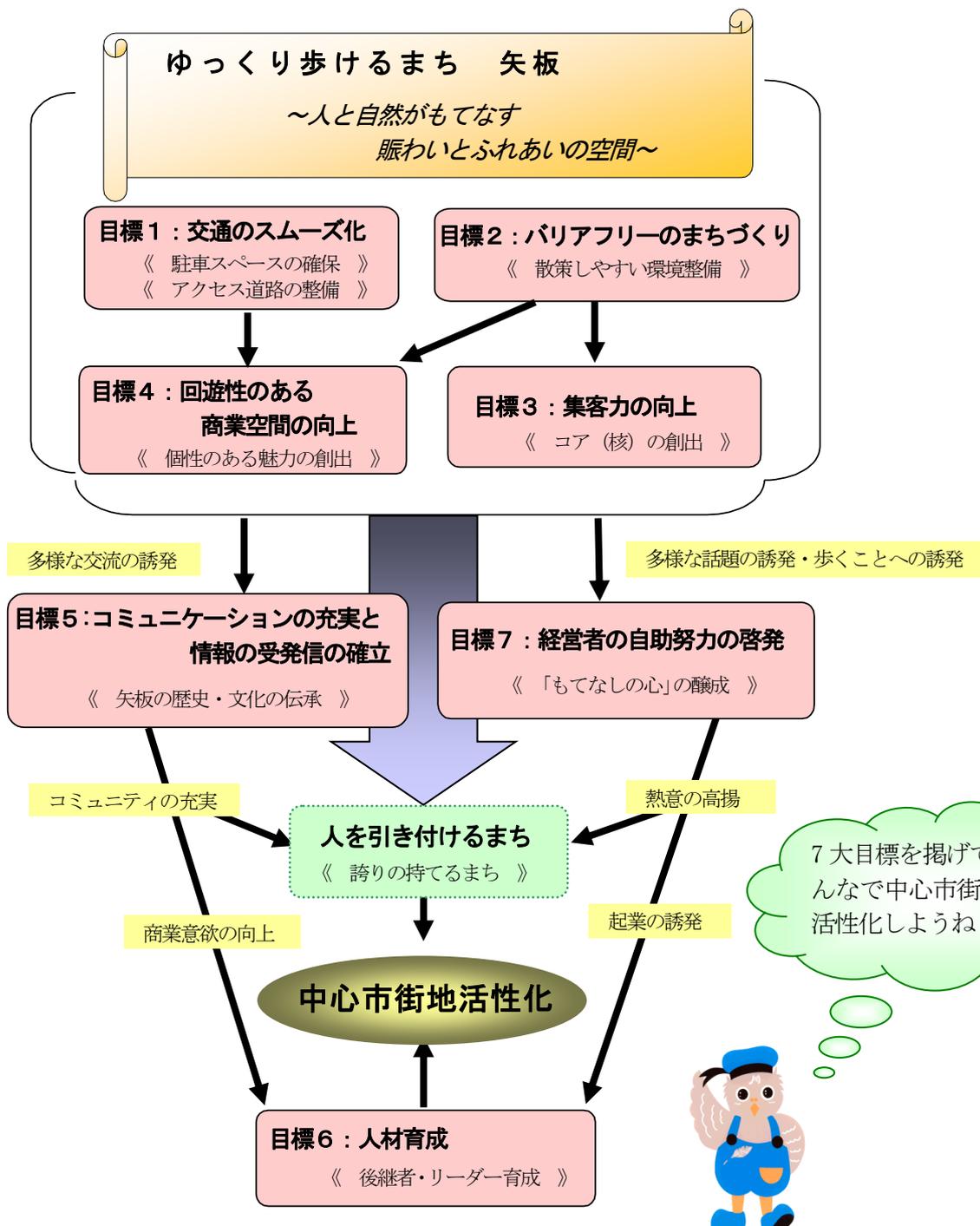
年間販売額と売場面積の推移



# 活性化に向けた7大目標

活性化のコンセプトは、生活者にとって快適に安全に買物ができるように、観光客や来訪者にとって気軽に立ち寄り歩いてもらえるよう、『ゆっくり歩けるまち 矢板』と設定した。

キャッチフレーズは、矢板の歴史・文化・芸術・伝説等を築いてきた『人』と、高原山等の山並みや内川等の水・緑等の矢板に残された『自然』とが、生活者や観光客、来訪者を温かく迎えてくれることにより「賑わい」が生まれ、交流の促進を図ることにより、「ふれあい」が生まれることを目指し、『人と自然がもてなす賑わいとふれあいの空間』とした。



## 活性化に向けた方向性と方策

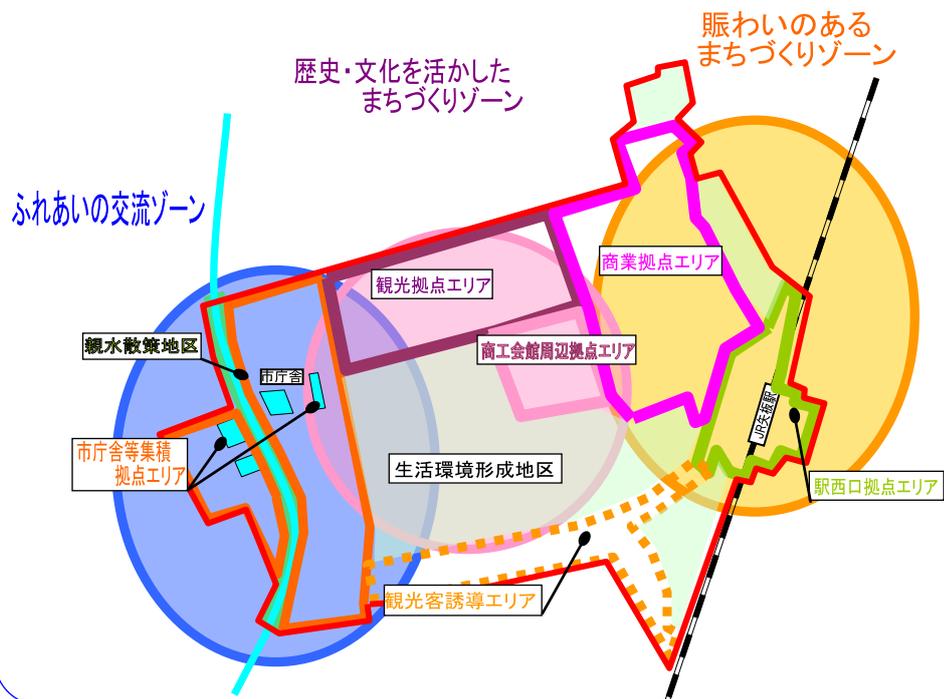
基本 コンセプト	『 ゆっくり歩けるまち 矢板 』 ～人と自然がもてなす 賑わいとふれあいの空間～		
中心市街 地活性化 の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通のスムーズ化</li> <li>● バリアフリーのまちづくり</li> <li>● 集客力の向上</li> <li>● 回遊性のある商業空間の向上</li> <li>● コミュニケーションの充実と情報の受発信の構築</li> <li>● 人材育成</li> <li>● 経営者の自助努力の啓発</li> </ul>		
視 点	活性化に向けた方向性	活性化に向けた方策	
都市基盤 交通基盤 歩行者空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通基盤の整備促進</li> <li>○ 公共交通ネットワーク機能の充実</li> <li>○ 歩行空間整備事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 矢板駅の機能強化及び関連施設整備</li> <li>◇ シンボルロードの整備</li> <li>◇ 幹線道路及び生活道路等の整備</li> <li>◇ 歩道等のバリアフリー化の整備</li> <li>◇ 駐車場・駐輪場の整備</li> <li>◇ 多目的広場の整備</li> <li>◇ ポケットパークの整備</li> </ul>	
商業環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマに沿ったゾーンの形成</li> <li>○ 回遊できるまちづくりの実践</li> <li>○ 商店会の魅力の強化</li> <li>○ 人材育成の実践</li> <li>○ 商業基盤の整備</li> <li>○ 民間活力の導入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 魅力ある個性的な個店・商店会の形成</li> <li>◇ 空店舗・未利用地の利活用</li> <li>◇ 駐車場・駐輪場等の案内システムの整備</li> <li>◇ 後継者・リーダー等の育成</li> <li>◇ 販売促進活動の強化と商店会活動の充実</li> <li>◇ イベント事業の創出</li> <li>◇ TMOの設立</li> </ul>	
居住環境 (公共公益 サービスを含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住み良い生活環境の創出</li> <li>○ 高齢社会への対応</li> <li>○ 高度情報化の推進</li> <li>○ 市民コンセンサスの形成</li> <li>○ 高齢者・障害者にやさしいまちづくり</li> <li>○ コミュニケーションの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 居住・生活環境のアメニティの確保</li> <li>◇ バリアフリー化のまちづくりの推進</li> <li>◇ 防災・防犯に配慮したまちづくりの推進</li> <li>◇ 交通安全の推進</li> <li>◇ 地域コミュニティ活動の推進</li> <li>◇ 行政情報関連システムの整備</li> <li>◇ 福祉、医療・健康づくり・生涯学習の既存施設との連携及び支援機能の充実</li> <li>◇ 情報関連機能の充実</li> </ul>	
観光・文化 及びその他の 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光・文化施設・地域資源等との連携等</li> <li>○ 賑わいのある街並み景観の形成</li> <li>○ 自然環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 観光・文化施設等の整備及び連携等</li> <li>◇ 農業・工業等他産業との連携等</li> <li>◇ ミニホール、ミニギャラリー等の整備</li> <li>◇ 観光物産館等の整備</li> <li>◇ 矢板オリジナル商品の開発</li> </ul>	

# 中心市街地の将来像

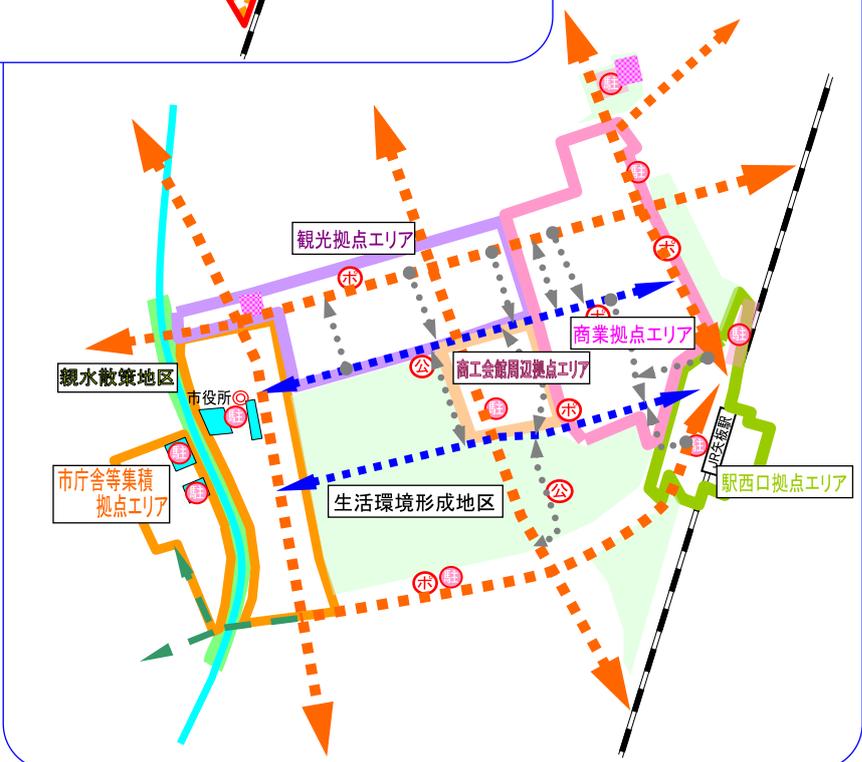
中心市街地の将来像は、個性や独自性のある8つのエリアを連携して魅力ある市街地を形成していくため、3つのゾーンを設定する。各ゾーンの特徴を活かした拠点の整備やバリアフリー等の機能強化を図りながら、地域住民、来街者が共有できる魅力ある都市空間の創出を図る。

また、将来の交通ネットワークは、車と自転車と人が快適に利用できる道路等の整備を推進し、高齢社会にも対応した回遊性のある歩行環境の機能強化を図り、ゆとりと潤いのある空間を促進する。

ゾーニング図



交通ネットワーク図



凡 例

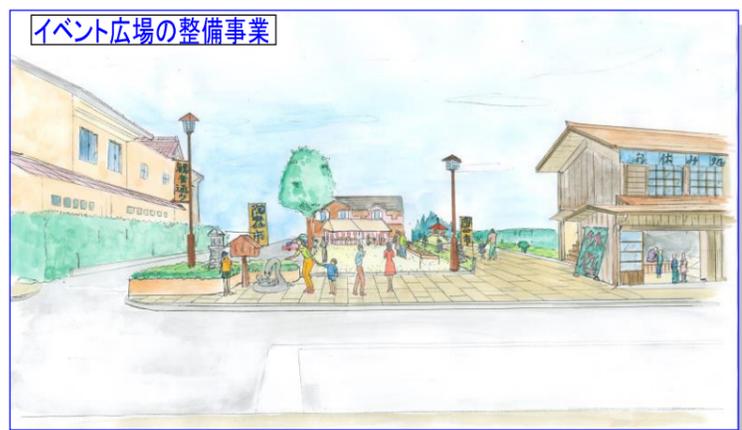
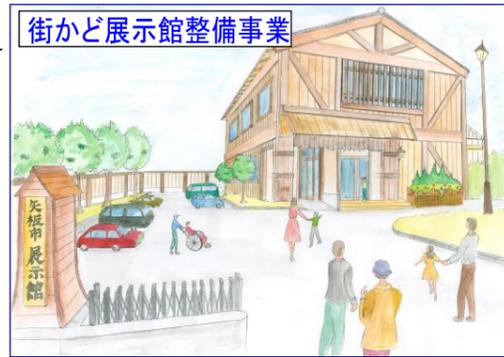
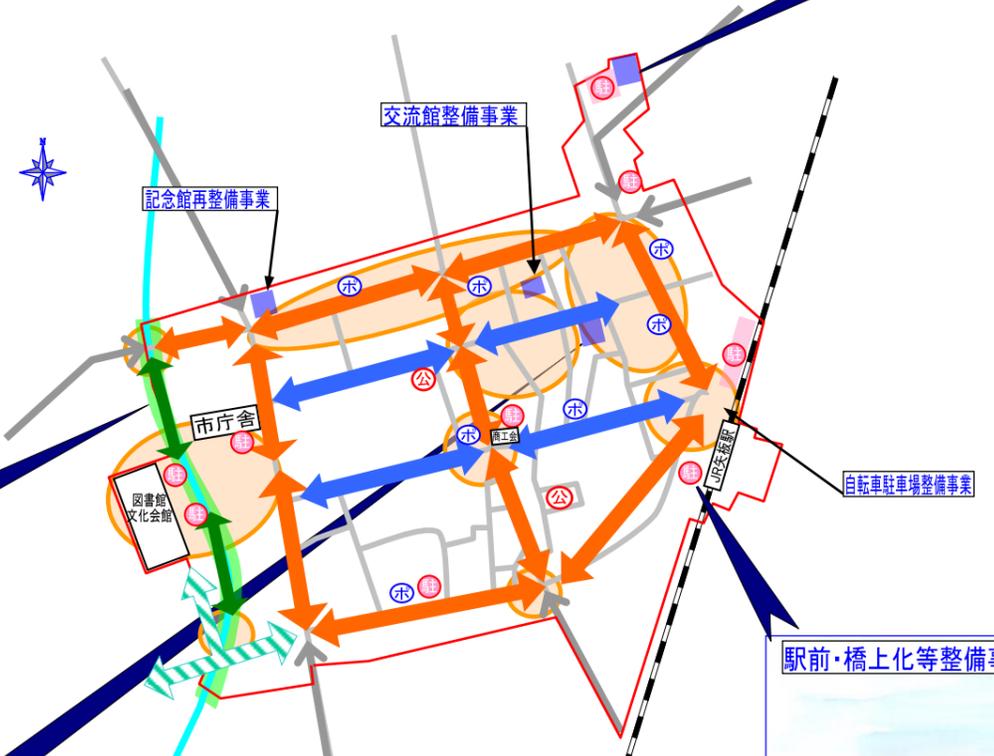
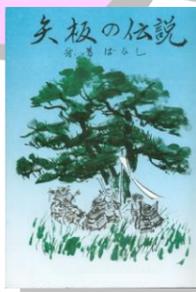
- ◀...▶ 歩行者の回遊経路
- ⇄ 自動車の動線
- ⇄ 自転車と歩行者の動線
- ⇄ 計画路線

# 中心市街地の整備改善と商業等の活性化に関わる事業イメージ

## ゆっくり歩けるまち 矢板

人と自然がもてなす「賑わいとふれあいの空間」

シンボルとなる商店会の通りは、矢板市の伝説や昔ばなしにまつわるモニュメント、音声ガイド等があると楽しくなるね。各通りには街の個性を演出するため、昔ばなしを盛り込んだ通り名を命名すると、親しみがもてるね。  
街の中をレンゲツツジでいっぱいにしたら、きれいだね！高齢者にも配慮した快適な歩行環境になるといいね。



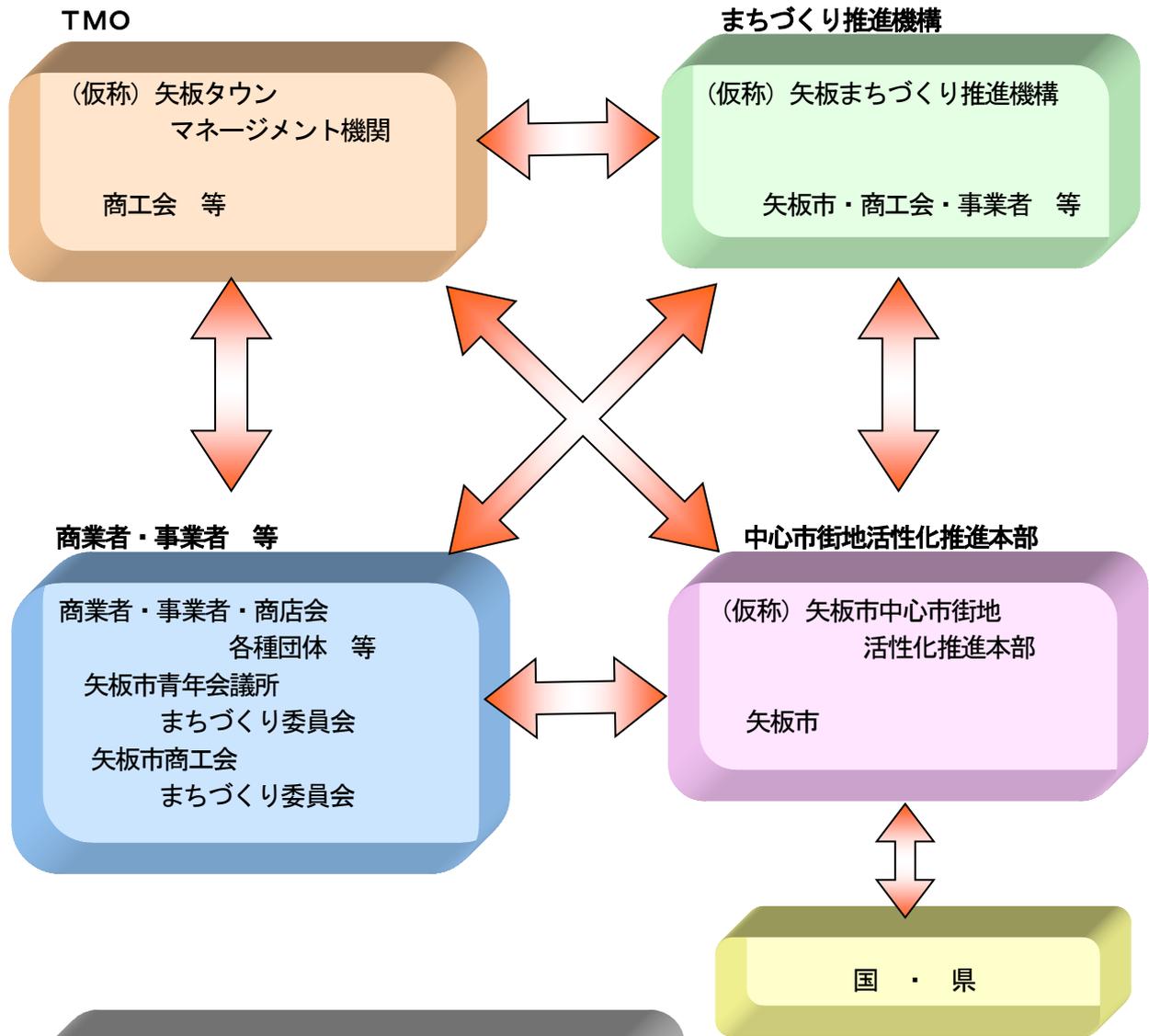
### 地場産品の再活用



- 凡 例
- 中心市街地
  - ポケットパーク整備
  - 駐車場整備
  - 既存公園
  - 商業拠点の形成ゾーン
  - 想定される施設整備事業
  - 自動車主体動線
  - 自転車・歩行者動線
  - 歩行者専用動線
  - 将来計画道路

# 事業推進体制づくり

中心市街地活性化事業を実際に動かしていくためには、市民、商業者、地元企業、商工会、市等が相互の役割分担と責任のもとに、連携して取り組む必要がある。まず、事業を着実に進めていくための実働部隊や庁内関係部署の調整機関等を設置する。つぎに、事業推進の中心的役割を担う「TMO」やまちづくりについて機動的に対応できる「まちづくり推進機構」を構築し、中心市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進する。



**矢板市 商工林業観光課**  
 〒329-2192 栃木県矢板市本町5番4号  
 Tel (0287) 43-6211  
 Fax (0287) 44-3324  
 URL <http://www.city.yaita.tochigi.jp>



市民の日マスコット  
「ポッポちゃん」